

二、三除草剤の殺草効果の差異
(冬作物に対する除草剤試験 第2報)

野田健児・江口末馬・熊本 司
(九州農業試験場)

1949～'50年の冬作物、小麦、稗麦、えんどう、馬鈴薯について除草剤4種 AS, ISA, CI-IPC, MCP の試験を行つた。第2報として4種除草剤の雑草の種類ごと殺草効果についてかんさつした結果を報告した。その要点は供試薬量のはんいにおいては CI-IPC, MCP の殺草効果をもつとも大であり、とくに CI-IPC はスマメノテッポウその他禾本科雑草に対する殺草力がよ

り大なることがみられた。他3種の選択的殺草効果は明瞭でなかつた。また宿根性の百合科雑草スルポの如きはなかなか枯死しにくい。AS, ISA は撒布直後には殺草力は大であるが、比較的残効期間は短いようである。

(内容の詳細については 1950～'51年の結果も併せて別の機会に報告する予定である)